

DataDownloader (Windows 用)
(for TSND121/TSND151・AMWS020)

ユーザーズマニュアル

Ver 2.0.3

株式会社 **ATR-Promotions**

注)本ソフトウェアは修正や改良に伴い、予告無く仕様を変更する場合があります。予めご了承下さい。また、マニュアルに記載されている社名および製品名は、一般に各社の商標もしくは登録商標です。

目次

1	はじめに.....	1
2	DataDownloader の概要.....	1
3	DataDownloader の利用の流れ.....	1
3.1	起動.....	1
3.2	環境設定.....	1
3.3	センサーの選択.....	2
3.4	センサー名の設定.....	2
3.5	センサーに記録されているデータを 1 つ選択してダウンロード.....	2
3.6	センサーに記録されているデータを全て一括でダウンロード.....	3
3.7	内蔵メモリーのクリア.....	3

1 はじめに

本マニュアルは、小型無線多機能センサー (TSND121/151・AMWS020) 用センサーデータダウンロードツール「DataDownloader」の使い方について説明するものです。

2 DataDownloader の概要

DataDownloader は、小型無線多機能センサー (TSND121/151・AMWS020) のセンサーデータのダウンロードに対応した Windows 用ツールです。SensorController や ALTIMA では内蔵メモリーに記録されているデータを 1 つずつ選択してダウンロードする必要がありますが、本ツールでは選択したセンサーに記録されている全てのデータを一括でダウンロードすることが可能です。

3 DataDownloader の利用の流れ

3.1 起動

DataDownloader を起動すると、メインウィンドウ(図 1)が表示されます。



図 1 メインウィンドウ

3.2 環境設定

メニューバーの「設定」の「環境設定」を選択して下さい。「環境設定」ウィンドウ(図 2)が開きます。



図 2 「環境設定」ウィンドウ

環境設定ウィンドウではセンサーからダウンロードしたデータの保存先を設定することが可能です。

データのダウンロードを開始するとここで設定したフォルダーの下に読み込みを開始した時刻を基にした「mem-年月日-時分秒」というフォルダーが作成されます。このフォルダーの中に実際に計測を行った時刻を基にした「mem-センサー名-年月日-時分秒ミリ秒」という名前の CSV ファイルが作成されます。この CSV ファイルの中にセンサーよりダウンロードしたデータが保存されます。なお、初期状態ではデータ自動保存先は「ドキュメント」フォルダーに設定されています。

3.3 センサーの選択

メインウィンドウ上部の「シリアルポート」の右側の接続可能なセンサーの一覧からデータをダウンロードする対象のセンサーを選択して下さい。なお、シリアルポート欄にはセンサーの COM ポート番号が記載されています。Bluetooth 接続の場合、COM ポート番号の後ろにセンサーの種類、及びセンサーのシリアル番号が記載されています。また、USB 接続の場合は COM ポート番号の後ろに (USB) と記載されています。USB 接続の方が短い時間でのデータのダウンロードが可能のため、長時間計測したデータをダウンロードする場合や、一括ダウンロードを行う場合は USB 接続を選択することをおすすめいたします。

センサー選択が終わりましたら「選択」ボタンを押下して下さい。センサーとの接続を開始します。

接続対象のセンサーが見つからない場合は「更新」ボタンを押下して下さい。接続可能なセンサーの一覧を更新いたします。更新が終わりましたら改めてセンサーを選択して下さい。

3.4 センサー名の設定

センサーとの接続に成功したら「センサ名」の欄に SensorController 等で入力したセンサー名、または任意のセンサー名を設定して下さい。「センサ名に機種名・シリアル番号をコピー」ボタンを押下することにより、選択したセンサーの機種名とシリアル番号を「センサ名」の欄を入力することが可能です。ここで設定したセンサー名が計測するファイル名に使用されます。なお、「センサ名」は設定必須の項目です。空欄の場合はダウンロード処理を実行することができませんのでご注意ください。また、SensorController 等で設定したセンサー名をファイル名に使用する場合、DataDownloader の「センサ名」の欄に改めてセンサー名を入力する必要があります。この場合は、SensorController 等でセンサー名を設定する際にセンサーのシリアル番号と設定したセンサー名を別途記録して下さい。そしてそこで記録したセンサー名を DataDownloader の「センサ名」の欄に入力して下さい。

3.5 センサーに記録されているデータを 1 つ選択してダウンロード

センサーとの接続に成功したらメインウィンドウの左下にそのセンサーに記録されているデータエントリーの一覧が表示されます。また、メインウィンドウ右下の「データ読み込み」、「一括ダウンロード」、及び「内蔵メモリクリア」の 3 つのボタンが選択可能になります。

センサーに記録されているデータのうち 1 つをダウンロードする場合は、データエントリーの一覧からダウンロードする対象のデータエントリーを選択したうえで、「データ読み込み」のボタンを押下して下さい。すると選択したデータエントリーをダウンロードします。ダウンロードしたデータの保存先については「3.2 環境設定」の節を参照して下さい。

3.6 センサーに記録されているデータを全て一括でダウンロード

センサーに記録されているデータを全てダウンロードする場合は、「一括ダウンロード」ボタンを押下して下さい。すると確認ダイアログ(図 3)が表示されます。

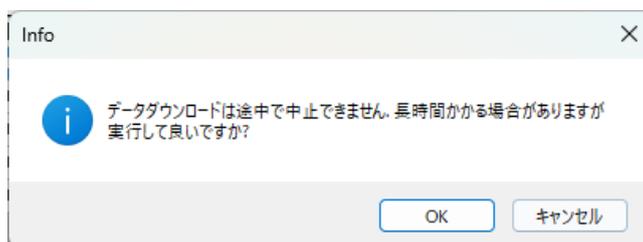


図 3 「一括ダウンロード」ボタン押下時の確認ダイアログ

確認ダイアログで「OK」を押下すると、センサーに記録されている全てのデータエントリーを1つずつダウンロードいたします。また、メインウィンドウの右下の「中断」ボタンが選択可能になります。

ダウンロードしたデータの保存先については「3.2 環境設定」の節を参照して下さい。

データエントリーの数が多い場合やレコード数の多い(長時間計測した)データエントリーが含まれる場合はダウンロードが完了するまでに時間がかかります。したがって、この処理を行う際はセンサーとPCをUSBで接続したうえで実行することをおすすめいたします。

センサーからのデータのダウンロードを中断したい場合は「中断」ボタンを押下して下さい。

「中断」ボタンを押下すると現在ダウンロード中のデータエントリーのダウンロードが終了した時点でデータのダウンロードを中断します。したがって、現在ダウンロード中のデータエントリーのレコード数が多い場合は「中断」ボタンを押下してからダウンロードを中断するまでに時間がかかりますので、ご注意ください。

3.7 内蔵メモリのクリア

センサーの内蔵メモリーをクリアする場合は、「内蔵メモリクリア」ボタンを押下して下さい。すると警告ダイアログ(図 4)が表示されます。

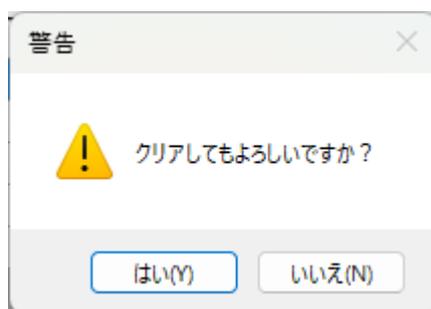


図 4 「内蔵メモリクリア」ボタン押下時の警告ダイアログ

警告ダイアログで「はい」を押下すると、内蔵メモリーの全エントリーを消去します。消去したデータを復旧することは出来ませんので、ご注意ください。

お問合せ

お問合せは下記にご連絡下さい。お客様のご意見やご要望等もお寄せ下さい。

弊社ホームページ(<https://www.ATR-P.com/>)のお問合せフォームよりご連絡をお願いします。

〒619-0288 京都府相楽郡精華町光台 2 丁目 2 番地 2

(株)ATR-Promotions

TEL: 0774-95-1300

FAX: 0774-95-1191

2024 年 3 月版